

与野南小だより

5月号 令和5年5月2日発行 第2号



さいたま市立与野南小学校

【児童数】計336名

電話 831-0157



学校ホームページ

気持ち良く挨拶をしよう

校長 土屋 智樹

新学期が始まって1か月が過ぎ、新緑の美しい季節となりました。

5月を迎え、子どもたちは緊張の表情から少しずつ自分らしい表情を浮かべて学校生活を送り始めています。学校の前の横断歩道で子どもたちに朝のあいさつをしていると、元気いっぱい笑顔であいさつをしてくれる子、お話を夢中になっている子、うつむいている子など子どもたちの様子は様々です。朝のあいさつをすることで、自分の中で「1日がスタートするぞ」という気持ちになります。

「あいさつ」を漢字で書くと、「挨拶」ですが、「挨拶」の意味を辞書で調べると、「挨拶」は押す、「拶」は迫るの意とあります。これは、師匠が弟子に声をかけ、相手の悟りの深さを試すという「一挨拶（いちあいいっさつ）」という言葉から始まっています。現在では、相手の悟りの具合を見るわけではありませんが、「おはようございます」「こんにちは」などの言葉から、相手の声や表情を読み取り、相手の様子を知ることができます。このように、挨拶は「互いに心を開いて、相手に近づく」行為であり、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの一つと言ってよいでしょう。

では、気持ちの良い挨拶を交わすことができるようになるためには、どうすればいいでしょうか。まずは自分から心を開いて、「今日も一日よろしく」という気持ちを込めて、自分から進んで明るく挨拶することです。私たち大人は子どもたちについて「挨拶をしなさい！」などと言って指導することがありますが、やはり私たち大人からも、子どもたちに心を開いて相手に近づいていこうとする姿勢が、まずは大切なのではないのでしょうか。

学校では、子どもたちに豊かな心をはぐくむ視点の一つとして、「挨拶」を取り上げており、いろいろな取組を通して、子どもたちに挨拶を奨励していこうと考えております。また、昨年度、学校運営協議会での提言を受け、学校・家庭・地域の3者によるあいさつ運動が始まりました。是非、子どもたちのあいさつ運動の実施日に保護者の皆様、地域の皆様が通学路や家の前に出て、子どもたちに挨拶や声掛けをしていただければと思っております。どうぞ、保護者の皆様、地域の皆様も一緒に気持ちの良い挨拶を広め、笑顔でつながる学校をつくっていきましょう。



1年生を迎える会より